

背部の筋のポイント

- 1) 体表より項部と背部を区分して位置を説明できる。
- 2) 外後頭隆起、隆椎=第7頸椎、肩甲棘、腸骨稜を触知し説明できる。(褥瘡(床ずれ)の部位)
- 3) 脊髄神経後枝(特に大後頭神経、後頭下神経、上・中殿皮神経)の走行と支配領域を説明できる。
- 4) 僧帽筋と胸鎖乳突筋の起始、停止、作用、神経支配(兄弟筋)について説明できる。
- 5) 聴診三角の位置、構造、臨床的意義を説明できる。
- 6) 腰三角(ヘルニア三角)の位置、構造、臨床的意義を説明できる。
- 7) 大、小菱形筋と肩甲挙筋の起始、停止、作用、神経支配について説明できる。
- 8) 胸腰筋膜の形状を関連する筋と共に説明できる。
- 9) 脊柱起立筋を分類して形態および作用を説明できる。
- 10) 横突棘筋を分類して形態および作用を説明できる。
- 11) 棘間筋、横突間筋、肋骨挙筋の形状を説明できる。
- 12) 脊柱の靭帯(項靭帯、棘上靭帯、棘間靭帯、黄色靭帯、前縦靭帯、後縦靭帯)の位置、形状を説明できる。
- 13) 椎間円板の構造および形態学的意義を椎間板ヘルニアとも関連付けて説明できる。
- 14) 後頭下三角(椎骨動脈三角)の構成と内部構造を説明できる。
- 15) ヤコビ線の位置と臨床的意義(腰椎穿刺)について説明できる。
- 16) 硬膜上腔の位置と構造および臨床的意義(硬膜外麻酔)について説明できる。